

11月9日(木)～15日(水) 午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

## 過半数代表者選出選挙の信任投票日です

### 本荘・大江事業場 中村 直子氏

### 医学部附属病院事業場 石原 光浩氏を信任してください

熊本大学で働く労働者の過半数代表者の選出選挙が行われています。過半数代表者は、就業規則の変更に関して意見を述べ、36協定に代表される労使協定の締結、労働安全衛生法に基づく委員の推薦などの権限等が与えられ、教職員の労働条件を決定する重要な役割を果たします。

つまり、私たちの労働条件に直接関わる重要な仕事を受け持つ事になります。組合は、職場環境・労働条件の改善を目指し、過半数代表者を支援しています。組合推薦の候補者お二人からのひとことを紹介します。

#### 本荘・大江事業場 中村 直子

生命資源研究・支援センター 実験動物分野 技術職員  
2017年度 熊本大学教職員組合医学部支部副支部長

本荘・大江事業場「労働者過半数代表者」に立候補させていただきます。生命資源研究・支援センター 実験動物分野の中村直子です。一昨年より過半数代表を務めて参りましたが、残念ながら一部の教職員の皆様からのお声を拝聴するに留まってしまっておりました。運営費交付金の削減や少子化など、大学を取り巻く状況が年々悪化している状況ではありますが、様々な勤務形態があり、多様な業務に就いておられる教職員の皆様それぞれの立場に立って事業場の皆様から情報やご意見をお聞かせいただき大学へ届けたいと考えます。他の事業場の過半数代表者の方々とも連携を図りつつ、皆様に、熊本大学は働きやすくて働きがいのある職場だとおっしゃっていただけることを目指します。大学が、地域、日本そして世界に期待される大学となるためのお役に立ちたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

#### 医学部附属病院事業場 石原 光浩

附属病院医療技術部病理技術部門 医療技術職員  
2017年度 熊本大学教職員組合医学部支部副支部長

今回、熊本大学教職員組合の推薦を受けて、附属病院事業場の過半数代表者に立候補することになりました。附属病院病理診断科(病理部)臨床検査技師の石原光浩です。

近年、劣悪な労働環境が社会問題として注目を集め、過労死による労災が認められる件数も増加傾向にあります。そういった社会情勢の中、国も長時間労働削減や労働環境改善に早急に取り組んでいるところです。附属病院においても、職員ならびに有期雇用職員を含む全職員が劣悪な就業規則のもとで働くことがないように、大きな発言権をもって役割を果たしていきます。時間外労働については、学長と「36協定」を締結する責任を担います。今回の附属病院で違法性を回避するために特例時間を延長した対応は、労働環境を改善する根本的な改善にはつながりません。引き続き、労働時間や労働条件の実情を注視し、使用者に改善に向けた具体策を要求していきます。

最後に、他の事業場の過半数代表者と密に連携を図り、職場環境や労働条件の改善を目指し努力いたします。皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

**熊本大学と雇用関係にある職員全員**(10月1日在職者) 一正規職員、

有期雇用職員(フルタイム・パート職員)、再雇用職員一 **が有権者です。**

学長・理事・監事・非常勤講師・TA・RA・医員(パートタイム職員の大学院生)・派遣の方は除きます。

	熊本大学教職員組合(医学部支部版)	
	No.6 2017. 11. 8	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp <a href="http://union.kumamoto-u.ac.jp/">http://union.kumamoto-u.ac.jp/</a>